

小学校英語必修化に対応する小・中・高一貫型の語彙指導 —中・高生用生活語彙カルタの作成と実践—

西垣知佳子¹⁾ 中條清美²⁾ クリス・カトウ³⁾

¹⁾千葉大学・教育学部 ²⁾日本大学・生産工学部 ³⁾我孫子市・教育委員会

Teaching Daily Life English Vocabulary to Junior and High School Students with the Relation to Elementary School English

NISHIGAKI Chikako¹⁾ CHUJO Kiyomi²⁾ KATO Chris³⁾

¹⁾Faculty of Education, Chiba University ²⁾College of Industrial Technology, Nihon University

³⁾Abiko City Board of Education

平成19年度中に改定予定の新・学習指導要領では、小学校英語が必修化される見通しとなっている。本研究グループは、小学校英語の必修化を見据え、小・中・高一貫型の語彙指導シラバスの開発を行ってきた。本研究は一連の開発研究の一部をなすものである。日本の学校英語教科書は、問題点として、日常生活語彙の不足が指摘されてきた。そのような現状に鑑み、我々はこれまでに小学生用の「生活語彙カルタ」を開発した。ここでは、小・中・高一貫型の語彙指導シラバスの構成要素である中・高生用の「生活語彙カルタ」を開発した。指導語彙の選定はコーパス言語学的手法を用いて客観的に選定した。本教材は、多様なヒントが準備された「読札」、美しい写真と付加的言語情報のある「絵札」が特徴である。作成した教材は高校の英語授業で試用した。語彙テストの結果から生活語彙の指導に効果があったこと、質問紙調査から学習者がカルタ活動を楽しんでいたことが確認された。

English textbooks used in Japanese junior and senior high schools lack sufficient daily life vocabulary; words such as *faucet*, *thermometer* and *crosswalk*. In this study 'karuta', a traditional Japanese card game, was developed to teach daily life vocabulary to Japanese junior high school and senior high school students. The target words for our karuta were statistically selected based on corpus linguistics techniques. The karuta cards are made up of two types: picture cards (*e-fuda*) and reading cards (*yomi-fuda*). Both cards produced in this study are different from ordinary ones. The 'reading cards' include hints about the target word such as its shape, color, size, usage, environment, habitat, etc. Students listen to these hints read one after another by their instructor and quickly choose the corresponding picture card from an array of cards in front of them. Thanks to the large number and extensive variety of hints listed on the reading cards, the karuta can be used with students of different English levels and different cognitive abilities. In addition, the picture cards provide beautiful photos taken by professional photographers. The photos clearly indicate the objects and ideas that a target word refers to. It was expected that these cards would help students understand the meaning of the words and motivate them to learn more vocabulary. The karuta developed was used at high school and its efficacy was measured. The result of a word test showed that the students learned a significant amount of daily life vocabulary. The result of a questionnaire revealed that they had enjoyed the activities using karuta cards. Based on these results we concluded that students benefited from the karuta activity that provided an opportunity for exposure to English while lowering their affective filter.

キーワード：生活語彙 (daily life vocabulary) 英語カルタ (English 'karuta' cards)
語彙選定 (vocabulary selection)

1. 小・中・高・大一貫型語彙指導の構想

世界の多くの国々では、グローバル化の進展に対応するため、外国語教育の強化、早期化が進んでいる (大谷, 2006)。日本でも「英語が使える日本人育成のための行動計画」(文部科学省, 2003)に見られるように、英語教育改善のための試みがなされている。しかし、諸外国

と比べると抜本的な改革とはなっていないのが現状である (樋口・泉・衣笠他, 2005; 小池, 2006)。

樋口 (2005) は、日本の外国語教育改革が遅れている原因のひとつに、小・中・高に一貫するナショナル・シラバスの欠如があるとしている (p. 237)。日本と同様のEFL (English as a Foreign Language: 外国語としての英語) 環境にある東アジア諸国では、政府によって到達目標が明確に設定され、それを達成するための小・中・高一貫型のナショナル・シラバスが構築されている

(文部科学省教育課程部会配布資料, 2004; 2005)。

一方, Wilkins (1972) が “While without grammar very little can be conveyed, without vocabulary nothing can be conveyed” (p. 111) と指摘するように, 語彙力はコミュニケーションの基盤である (Krashen & Terrell, 1983; McCarthy, 1990; Coady, 1997; Thornbury, 2002; Folse, 2004)。そのため各国のナショナル・シラバスにおいて, 文法と並んで, 英語の基礎学力の要である語彙は重要項目のひとつとなっている。

そこで, 本研究グループは, ナショナル・シラバスの重要な構成要素のひとつであり, コミュニケーション能力の基礎である語彙に関して, 小・中・高さらに大学までの連続性に配慮した系統的な「一貫型語彙シラバス」の開発を試みてきた。

本節では, 我々が取り組んできた「一貫型語彙シラバス」の開発について, 語彙数と語彙選定の観点から述べる。

1.1 語彙数

樋口・田邊・衣笠他 (2005) は一貫的なナショナル・シラバスの開発には, 「学習目的や学習負担を考慮し, 小・中・高各段階で扱う語彙数を決定することが大切である」と指摘する (p. 128)。そこで, 我々は一貫型語彙シラバスの作成の第一歩として, どの段階で, どのくらいの数の語彙を指導するかという「語彙数」の枠組から, 語彙指導の連続性の構想を立てた。まず, 日常生活を過ごすには, 単語の基底形 (base form) で数えて, 7,000~8,000語が必要と言われることから (中條・竹蓋, 1994; 竹蓋, 2000), 日本人英語学習者が目標とする学習語彙数を8,000語とした。次に, どの段階で, どのくらいの数の語を指導するかを検討した。その結果をまとめたものが図1である。

小学校における学習語彙数は竹蓋・水光 (2005), 樋口・田邊・衣笠他 (2005), 山田 (2007) など多くの研究者が目安としてあげている500語とした。この数は東アジアの小学校の指導語彙と比較しても妥当な数と言え

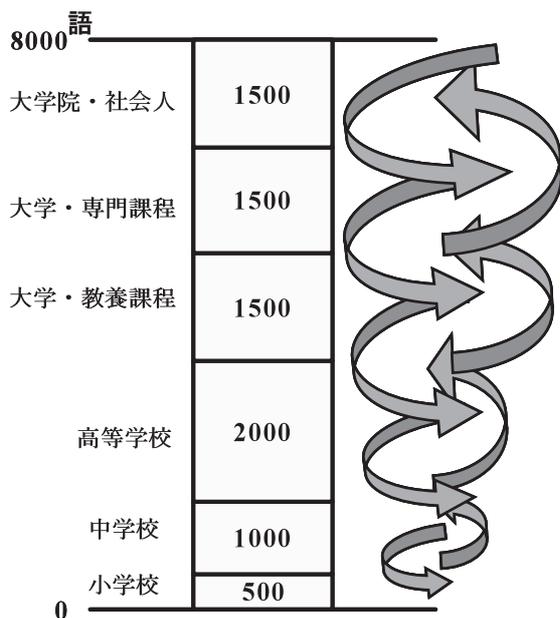


図1 語彙指導：語彙数の枠組

よう。

中学校の学習語彙数は, 1970年代以降に告示された『中学校学習指導要領』によると, 教科書で学習する語彙数は900語~1,050語 (1977年告示), 1,000語 (1988年告示), 900語 (1998年告示) と, およそ1,000語を中心に推移している。このことから, 中学校での学習語彙数は1,000語が妥当であろうと考えた。

高等学校についても同様に, 1970年代以降に告示された『高等学校学習指導要領』によると, 「中学校+高等学校」の学習語彙数は2,300語~2,950語 (1977/78年告示), 2,900語 (1989年告示), 2,700語 (1998/1999年告示) である (長谷川・中條, 2004)。このことから, 中・高の学習語彙の合計は, 3,000語程度が妥当であろうと考えて, 中学校の1,000語を差し引いた2,000語を高校の学習語彙数とした。なお, 高校までに学ぶ3,000語のうち, 2,000語は受容語彙にとどまらず, 発信語彙のレベルにまで高めたい語彙と考える (三浦, 1973; 竹蓋, 1982)。

そして8,000語に足りない語彙を大学・教養課程, 大学・専門課程, 大学院・社会人で1,500語ずつ増強するようにした。そしてこれらの語彙は, 図1のイラストが示すように, 語彙の繰り返し提示と反復学習を交えながらスパイラルに学習できるように言語材料に組み込みたいと考えている。

このようにして「語彙数」の枠組が決まると, 次に, 検討が必要となるのは, 実際にどのような語彙を指導するかという語彙選定の問題である。「語彙選定には明確な基準が必要である」と言われることから (Schmitt, 2000), 教材作成の際の語彙選定の参考資料となるような言語資料を作成する必要があると考えた。そこで, 図1の構想を具体化するために, 「言語材料の収集」を行い, 続いて「語彙選定」の作業に取り組んだ。

1.2 語彙選定

本研究グループは, 20年以上をかけて, 各種言語材料のコーパスを構築し, 統計的な基準に基づいて語彙リストを作成してきた。これまでにを行った語彙選定研究の成果をまとめたものが表1である。

はじめに, 中学校と高校の教科書語彙を調査した。我が国の英語教育の基盤は中・高の英語教科書にあると考えたためである。まず, 中・高英語教科書コーパスを作成して中・高英語教育の中核的語彙となる「中学校・基礎語彙」「高校・基礎語彙」を選定した (表1上から3,

表1 作成した語彙リストと語彙指導教材

レベル	語彙リスト	指導教材
小学校	小学校・生活基礎語彙	カルタ教材
中学校	中学校・基礎語彙	CALL 教材
高等学校	高校・基礎語彙	プリント教材
大学・教養課程	TOEFL 語彙	CALL 教材
大学・専門課程	TOEIC 語彙 ビジネス語彙	CALL 教材
大学院・社会人	EAP 語彙 科学用語語彙	WEB 教材

4行目)。基礎語彙選定の理由は、現行の平成10年版の中学校学習指導要領では、従来あった490語、あるいは507語といったいわゆる必修語が100語に減じ、どのような語が重要で、どのような語が偶然に出現した語なのかという判断が難しくなったため独自に基礎語彙を選定して判断基準を設ける必要があったからである。

「基礎語彙」の選定には、中学校検定教科書6シリーズ18冊、高校検定教科書16シリーズ48冊から英語教科書コーパスを作成し、ある特定の語が何種類の教科書に出現するかという「レンジ」と呼ばれる統計的指標を用いて、それぞれ552語と1,089語からなる「中学校・基礎語彙」「高校・基礎語彙」を選定した(中條・西垣・吉森他, 2007)。これらの「基礎語彙」は発信語彙として使えるように定着させたい最小限の語彙と考える。

図1で指摘した中学校で指導する1,000語、高等学校で指導する2,000語は「中学校・基礎語彙」「高校・基礎語彙」を基盤とした上で、今後、開発・提案したいと考えている。また、その際には、図1右に示したスパイラルな語彙の繰り返し提示と反復指導についても考えたい。

一方、中・高の英語教科書の問題点として、「生活語彙が不足する」ことがこれまで繰り返し指摘されてきた(山家, 1966; 堀内, 1976; 松原, 1987; 鶴田, 1991; 毛利, 2004)。実際に、教科書語彙が生活用語をどれだけカバーしているかという「カバー率」を調査した結果においても、生活語彙に対する教科書英語のカバー率の低さが確認されている(中條・長谷川・竹蓋, 1993; 長谷川・中條, 2004)。

文部科学省(2001)は、小学校英語では、「子どもの日常生活の中の身近な英語を扱うことに重点をおく」(p. 3)という指針を示している。したがって、生活語彙の不足は、地域や学校によってバラつきがあるものの、2002年に開始した小学校英語によって徐々に緩和されつつあると考える。また、今後の小学校英語の必修化によって、さらに改善の方向に向かうことが期待される。

そこで、小学生に習得させたい生活語彙の目安が必要になると考え、海外で出版された英語絵辞書20冊の語彙とWeb上で公開されている子ども話しことばコーパス等の言語材料を統合して生活語彙を収集し、子どもの語彙の特徴度を示す統計的指標値を算出して、指標値の上位から順に並べた「生活語彙リスト」を作成した(Chujo, Nishigaki, 2004; Chujo, Nishigaki, Utiyama, 2005)。そしてリスト上位から500語を「小学校・生活基礎語彙」(表1上から2行目)として選定した(西垣・中條・櫻村, 2007a)。

大学生用の指導語彙には、教養課程の履修に必要な一般学術英語(English for General Academic Purposes: EGAP)の語彙、さらに専門課程で必要となる「科学」「ビジネス」という特別な目的のための英語(English for Specific Purposes: ESP)の語彙を順次選定した(表1下から1, 2行目)。

語彙は重要な指導項目のひとつである。したがって表1に示した語彙リストを参考にしながら、目の前の学習者の英語力レベル、興味・関心などを考慮して語彙を選定すれば、学習効率の高い教材を作成できると考える。

本研究グループは表1に示した語彙リストを元に、そ

れを学習するための教材も合わせて開発してきた。それをまとめたものが表1右欄である。作成した教材には、CALL教材、Web教材、カルタ教材、プリント教材などがある。以下、本稿では、図1のうち、生活語彙に主眼を置いて小・中・高の連続性に焦点を絞って考察する。

1.3 中・高生のための生活語彙

「英語が使える日本人の育成」という国家的目標を達成するために、図1の枠組の中で、表1に示した語彙選定を行った。しかし、学校教育における語彙指導を見ると、中・高英語教科書は、分野や場面にとらわれない、汎用性の高い語彙の習得を目指している。そのため、小学校では生活語彙を学ぶものの、中・高教科書では、生活語彙の出現頻度は低く、小学校以降の英語教育では生活語彙の拡大は期待できない。また、小学校で学んだ語彙が、その後の学習場面に出現しない可能性も高く、連続性を持たせることも困難であると考えられる。

そこで本研究では、一貫型語彙シラバスの効果を強化し、中・高英語教科書の問題として指摘され続けてきた「生活語彙の不足」を補うために、小学校英語との連続性を考慮に入れた中・高生向けの生活語彙を選定し、その指導教材を開発し、試用実践を行った。

開発した教材は、図1に示した「中学校で習う1,000語」「高校で習う2,000語」の指導に加えて、さらに生活語彙を補充するという形で行われるものである。

以下では、第2節で中・高生のための生活語彙の選定について述べる。第3節ではカルタ教材の作成を詳述し、4節でカルタの試用、5節で試用の結果について報告する。6節ではまとめと今後の展望について述べる。

2. 中・高生のための生活語彙の選定

2.1 言語材料

中・高生用生活語彙は、次に示した言語資料に基づいて選定された。

a. 英語絵辞書の語彙：

「英語絵辞書には生活語彙が多く含まれる」という報告があることから、海外絵辞書(計20冊)を収集した(中條・西垣・内山他, 2005)。

b. 子ども話し言葉の特徴語：

子どもの言語獲得の研究のために構築されたCHILDES(Child Language Data Exchange System)の中の「話し言葉」をBNC(British National Corpus)の中のspoken componentから得られた「大人の話し言葉」と比較し、子どもの話し言葉に顕著な特徴語を抽出した(中條・西垣・内山他, 2006)。

c. 小学校英語活動テキスト出現語彙：

中学校検定教科書出版会社が発行する5シリーズ14種類の小学校英語活動用テキストとその指導書に出現する語彙を収集した(中條・西垣・西岡他, 2006)。

d. 語彙習得学年レベルの資料：

英語母語話者の子どもがターゲット語を習得する学年を調査したDale & O'Rourke(1981)とHarris & Jacobson(1972)を参照した。

e. 中学校基礎語彙：

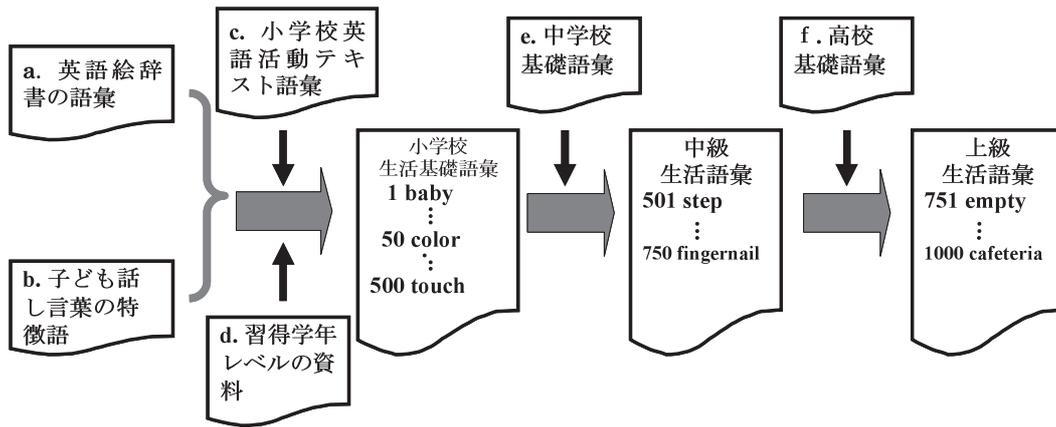


図2 中・高生活語彙の選定

6種の検定教科書中4種以上に出現した語彙を収集した(西垣・中條・武内, 2006)。

f. 高校基礎語彙:

16種の検定教科書中12種以上に出現した語彙を収集した(中條・西垣・吉森他, 2007)。

2.2 語彙選定

2.1に示した言語材料に基づいて、図2に示した手順にしたがって中・高生のための生活語彙を選定した。

上述の言語材料a.とb.を統合して子どもの話し言葉の特徴度の指標値を付加した5,259語からなる「生活語彙リスト」を作成した(Chujo, Nishigaki, 2004; Chujo, Nishigaki, Utiyama, 2005)。次にc.とd.に照らし合わせた上で、リスト上位500語より抽出した語彙を「小学校・生活基礎語彙」とした。続いて、リストの501位以降の語彙からe.を引いた残りの250語を中学生用の「中級・生活語彙」とし、さらにそれ以降のリストからf.を引いた250語を高校生用として「上級・生活語彙」とした。

3. カルタ教材の作成

「小学校・生活基礎語彙」を指導するために、カルタ教材を作成し、公立小学校で試用したところ、楽しく学習できること、語彙が定着することが確認された(西垣・中條・樫村, 2007b)。そこで「中級・生活語彙」「上級・生活語彙」も、「小学校・生活基礎語彙」の指導形態に合わせて、カルタ教材を作成することとした。

ゲーム性の高いカルタは、楽しく語彙を学習できる教材であり、松崎(1999)、わだ(2001)、匂坂(2005)、アルクキッズ編集部(2005)、末延(2006a, b)、宋次(2006)など多数のカルタがある。したがって、教材としてのカルタの価値は高く評価されているものと考えられる。

カルタ教材の利点には①リスニングを重視した活動ができる、②視覚情報が活用できる、③異文化に触れられる、④集団指導にも個別指導にも使える、⑤低コストである、⑥持ち運びが容易であるという点がある。

また、今回開発した教材には後述するように、⑦知的で楽しい活動ができる、⑧教科横断的な活動ができる、⑨いろいろな学年で使える、⑩様々な活動に応用して使

えるという特徴を備えている。

カルタの作成は、はじめに、ターゲット語を意味概念によってグループに分類し、次いで、「絵札」と「読札」を作成した。以下に詳しく述べる。

3.1 指導語彙の分類

「中級・生活語彙」「上級・生活語彙」に含まれる全てのターゲット語は、各語の持つ意味概念にしたがって上位概念と下位概念を与えて分類した。このような意味概念による分類は、*Longman Lexicon of Contemporary English* (McArthur, 1981)を参考にし、さらに既に作成している「小学校・生活基礎語彙」での意味分類と連続性を持たせながら行った。そのうえで、英語母語話者の意見を聴取した。上位概念・下位概念によるターゲット語の分類の例は表2に示した。

意味・概念にしたがって分類するのは、語彙の記憶への負担を軽減させ、学習事項の定着を促進する効果が期待できるためである。また、教師は単語の選定や配列が容易になるので、授業計画が立てやすくなる。

「中級・生活語彙」「上級・生活語彙」の合計500語を上位概念、下位概念に分類した結果は付録1、付録2に示した。

表2 ターゲット語の上位概念・下位概念の例

上位概念	下位概念	ターゲット語
nature	plants	acron
		cactus
		hay
		leaf
		seaweed
	∴	
	∴	
	materials & substances	iron
		marble
		mud
pebble		
seashell		

3.2 「絵札」の作成

作成した絵札の例を図3に示した。絵札の中央にはターゲット語の意味を示す写真，その下には綴りを記した。イラストの下には，関連情報としてターゲット語を含む英語表現を示した。

使用した写真の画像は，比較的料金で，種類が豊富で，画像が美しい著作権フリーの写真を提供するshutterstock (<http://www.shutterstock.com/>) というサイトから購入した。

ターゲット語の関連表現は，米語母語話者の意見や英英辞典などの情報を総合して決定した。関連表現には a pair of pliers のような慣用的な表現，push the stroller, call the waiter のような連語的表現，freshwater aquarium, vet clinic のような複合語があった。このような関連表現の提示は，応用力の養成をねらったもので，教科書では学べない生活に密着した英語表現である。

絵札の裏には，図4のようにターゲット語の綴りとターゲット語の定義を示した。絵札の裏を利用すると「読む」「書く」の指導に応用して利用できる。

3.3 読札の作成

伝統的なカルタゲームは ‘Battery!’ と読み上げられたターゲット語を聞いて絵札を取る，あるいはターゲット語の定義を聞いて絵札を取ることが多い。今回開発したカルタ教材は，読札に書かれたヒントが次々と読まれる。したがって，たとえひとつのヒントが聞き取れなくても，後に続くヒントを聞いて，聞き取れた断片的な情報をつなぎあわせて，正解に到達することができる。学習者はカードを取るために，耳に入る英語を懸命に理解しようとするので，自然な言語使用の状況が生み出され，

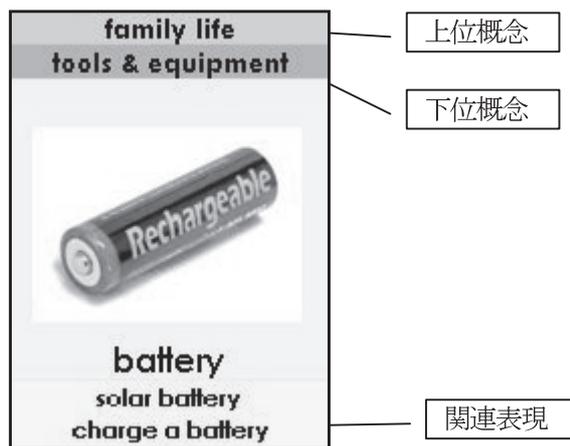


図3 絵札の例

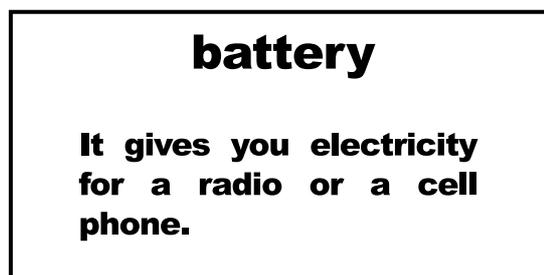


図4 絵札の裏（横にして見た場合）

音声英語のインプット量を増やすことができる。

「読札」に載せるヒントは，次のような観点から作成した。作成した読札の一例は表1に示した。

表3 読札の例

battery		指導の記録		
種類	ヒント			
一般	You use it at home.			
一般	You use it at school.			
一般	Its outside is hard.			
一般	You need it when you use a flashlight.			
一般	You need it when you use a radio.			
一般	You need it when you use a camera.			
一般	Some clocks need it.			
一般	Some calculators need it.			
一般	Cars need it.			
一般	Cell phones need it.			
一般	You can buy it at an electric appliance shop.			
一般	When it runs out of electricity, it becomes dead.			
一般	Most are disposable but some are rechargeable.			
一般	Some of them are recycled.			
理科	It is used as a source of power.			
理科	There is a positive side and a negative side.			
理科	It creates voltage and current from a chemical reaction.			
理科	Some are cylindrical and some are like buttons.			
理科	There are many different types: dry, storage, mercury, alkaline, and solar.			
文化	They are in different sizes. Some are called size A, size B, size C and size D.			
文化	Its kanji means electricity and pond.			

「読札」に載せるヒント

- 国語科，社会科，家庭科など，教科横断的な情報
 - 異文化情報
 - 社会生活上の常識的な情報
 - 絵札の写真を見てわかるような色，形，大きさなどに関する情報
- 読札の左欄には「ヒントの種類」を示した。教師は学習者の発達段階，英語力レベル，興味・関心を考慮しながらヒントを選択して提示することができる。読札の右欄には「指導記録」欄を設け，既に使ったヒントなどに印をつけて記録を取れるようにした。
- このような読札によって，次のような利点が得られると考える。
- リスニングは，絵札を取るための手段であるため，無意識のうちに英語を聞き取る
 - 音声重視の活動が行える
 - 他教科での既習事項の知識を活用できるので，教科横断的指導ができる
 - 知的で楽しい活動が行える
 - ヒントを選んで使えるので，学習者の発達レベルや英語力レベルに応じた指導ができる
 - たくさんのヒントの中から異なるヒントを選んで使えば，同じ教材を何度でも使える
 - 絵札の文字情報を利用すると，読む活動，書く活動に発展させられる

3.4 エクセルを使った絵札の作成

絵札の作成には1) 手軽に作成できる，2) 修正が容易である，3) 費用がかからない，4) 教材の交換，蓄積，共有ができる等の利点を考えて，Microsoft Excelを使った。身近なアプリケーションソフトを利用して，写真印刷紙にカラー印刷をすれば，鮮明で，ある程度耐久性のある絵札を簡便，かつ安価に作成することができる。

印刷の際に「倍率」の設定を変えると，クラス提示用のA4サイズの絵札から，個人，ペア，グループ活動用の手のひらサイズの絵札まで作ることができる。Excelを利用して作成した絵札の見本は図5に示した。絵札の作成方法は以下に示す。

- (1) Excelファイルを開く。ひとつのターゲット語に1

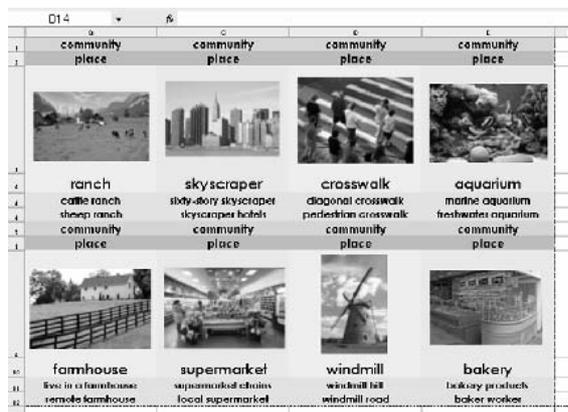


図5 EXCELで作成した絵札の例

- 列×6行のセルを使う。行の「高さ」を調整し，図5のようにカードを8枚並べて，A4サイズの写真印刷用紙に印刷すると，名刺サイズの絵札が8枚できる
- (2) 1行目にはanimal, nature, community, family life, などの上位概念を入れる
- (3) 2行目には farm animals, zoo animals, marine animals, birds, insects などの下位概念を入れる
- (4) 3行目は，写真を挿入する
- (5) 4行目にはターゲット語の綴りを入力する
- (6) 5行目，6行目には関連表現を入れる
- (7) 背景の色は，ツールバーの「塗りつぶしの色」を選んでクリックし，好みの色を選択する
- (8) 印刷して裁断する

図5のような写真の入手が困難な場合には，写真の変わりに著作権フリーのイラストをウェブサイトからダウンロードするなどできる。Microsoft Excelでは，クリップアートに種類豊富なイラストがあるので，学習者の好みを考えて適切なものを選択できる。また，低価格で写真を提供する素材集も売られている。

以上のようにして作成した絵札を授業で利用する方法は西垣・中條・檜村（2007b）に紹介されているので，参照されたい。

4. カルタの試用

今回，開発したカルタ教材は，英語が苦手で，英語学習に興味を持つことがあまり期待できない，動機付けの難しい学習者において効果が高いと考えられた。そこで，千葉県内の，いわゆる指導困難校と言われる高校において，カルタを試用して授業を行った。試用実践は以下のように行われた。

- 学習者：私立高等学校 第1学年（13名）
- 授業：40分授業×2回（プリ・ポストテスト，質問紙調査の時間は含まれない）
- 指導者：大学教員
- 指導語彙：battery, ranch, aquarium, hose, skyscraper, supermarket, faucet, crosswalk, thermometer, toolbox（10語）
- 評価：単語テスト，質問紙調査

単語テストは指導の前後にプリテスト，ポストテストを行った。両テストには同一のものを使用した。単語テストは1) 単語の音声を聞いてその単語が示す対象を14枚のイラストの中から選ぶ（10題），2) 単語の定義を聞いて，その定義に一致するイラストを14枚の中から選ぶ（5題）というものであった。質問紙調査には5段階評価と自由記述の形式があった。ポストテストと質問紙調査は授業2日後に行われた。

4.1 活動内容

ここでは，実際に行った学習活動の詳細を述べる。今回の実践では，学習者の英語力レベルと授業回数を考慮に入れて「学習目標」を1) 英語をたくさん聞く，2) 生活語彙を聞いて理解できるようになる，という2点に据えた。授業はできるだけ簡単な英語を使って行い，日本語の使用は補助的なものだった。表4，表5には実際

表4 カルタを使った学習活動：1日目

あいさつ	教師の紹介
導入	Who am I?
学習	What's on this card?
定着	Missing word

表5 カルタを使った学習活動：2日目

復習	What's on this card?
定着	Who am I?
発展	Read the cards.
まとめ	あいさつ

に行った学習活動を示した。

1日目の活動

指導者のあいさつに続いて、「導入」では、ペアになって Who am I? の活動を行った。絵札を机に広げて、写真を見ればわかるようなヒントを教師が次々と出して、学習者はカードを取った。例えば、crosswalk であれば、“You can see black. You can see white. You can see people. You can see people walking.” というようなヒントを出した。ターゲット語に相当する英語を知らなくとも、写真を見てカードを取れる。学習者たちはペアになり競ってカードを取った。しかし中には、授業開始から机に頭を伏せたままで、興味を示さない学習者もいた。

次の What's on this card? では、A4サイズに印刷したカードを使って、ターゲット語の意味と発音を確認し、確認するたびに、1枚ずつ裏返しにして黒板にランダムに貼った。ターゲット語を全て学習したところで、絵札の1枚を指して、“What's on this card?” と全員に質問をした。学習者は裏返されたカードが何であったか思い出して答えた。正解を当てたいために、競って単語を思い出してはターゲット語を口にして答えていた。学習者から正解を得られたカードは、おもてにして黒板に貼った。思い出して答える活動に学習者は関心を示した。

全ての絵札の正解が得られ、全カードがおもて向きに黒板に貼られたところで、次の Missing Cards のゲームを行った。“Close your eyes.” と指示をして、黒板に貼られた絵札の位置を変えて、その後、1枚の絵札を隠した。“Open your eyes.” の合図で学習者は目を開け、隠された1枚のカードが何であるかを当てた。学習者たちは正解するために、単語を熱心に思い出した。以上のような活動を行って、1日目の授業を終えた。

2日目の活動

次の日は、最初に What's on this card? のゲームを再度行って、単語の復習をした。学習者は正解を当てたいという思いから、真剣に単語とそれが黒板に貼られた位置を覚えていた。

次にペアになって Who am I? のゲームをした。教師は読札を使って、学習者の興味や年齢を考えてヒントを選んで出した。読札の英語が難しいようであれば、情報の内容を変えることなく、簡単な英語で言い換えてヒントを出した。学習者はヒントを聞いて、競ってカルタを

取った。授業開始直後から机に顔を伏せて授業を拒否していた1人の学習者も、活動ごとに少しずつ頭を上げ、この活動の頃には、背筋を伸ばして、他の学習者と同じようにカルタ取りをした。

最後の活動では、絵札の裏に印刷された文字情報を活用した。教師が、絵札の裏に書かれた英文を読みあげ、学習者は教師の読む英文と一致する英文が書かれた絵札を取った。例えば、toolbox であれば、絵札に印刷されているとおりに、“It is a special box that holds tools.” と教師が読み、学習者は一致する英文カードを探して取った。容易な活動のようであるが、1度ではカードを取れずに、教師が繰り返し英文を読んだ。本実践の学習者は英文を読むことにあまり慣れていないことが見て取れたが、この活動ではカードを取りたいために、熱心に英文を読んでいた。

5. 試用の結果

カルタの試用実践には13名が参加した。授業外の時間に行ったプリテストとポストテストの両テストを受けた学習者は11名であった。評価の分析は11名の結果をもとにして行った。

5.1 単語テスト

実施した単語テストの信頼性を検証するために、プリテストとポストテストの相関係数を求めたところ、 $r = .81$ であり、信頼性は確認されたものと判断した。

図6には、プリ・ポストの得点の推移を示した。その結果、学習の前後で6.1点の得点上昇があった。観測数が11名と少ないものの、統計的に検定したところ、 $t(10) = 8.95$ ($p < .01$) であり、得点上昇は有意なものであったことが確認された。学習した単語の約70%は定着していたが、一方、約30%は未習熟に終わった。

語彙の定着には、繰り返しが必要である。動機付けが高い上級学習者であっても、単語の繰り返し学習は苦痛であることが多い。したがって、今回のように学習意欲の低い学習者の場合には、楽しく、繰り返し使っているうちに、いつの間にか覚えてしまったというような工夫がさらに必要であろう。今回は聞き取れるようになることを目標にしたが、今後はカルタを使って「読む」「書

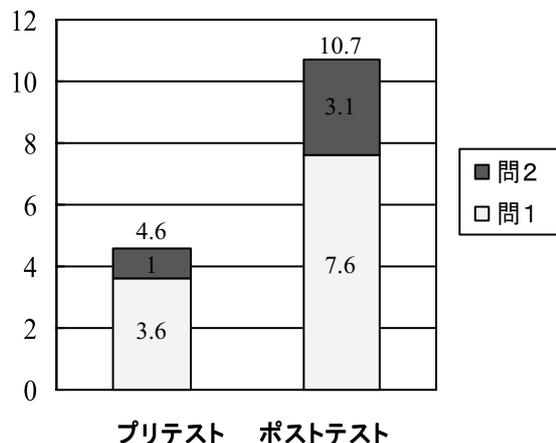


図6 プリ・ポストテストの結果：15点満点

く」の活動も取り入れて、さらに定着を高めるようにしたい。

授業担当者によると、今回の学習者がテストの平均得点で7割以上の単語を答えられるようになったことは、通常の授業の実績に照らし合わせると、高い効果であるということであった。

5.2 質問紙調査の結果

5.2.1 5段階評価

5段階評価の結果を表6に示した。結果を見ると、「カードはきれいだった」「意味が理解しやすかった」という項目で評価が高かったことから、写真を使ったカルタは見た目に美しく、関心が持て、意味理解の助けになっていたことが推定できた。したがって教材自体は、学習者の興味を引き出すものであったと考える。

指導については、かなり難易度を下げて活動を行ったが、「自然と単語を覚えられた」「難しさはちょうど良かった」という項目で、他の項目ほど評価値が高くなかった。今回の学習者には、さらに時間をかけた丁寧な指導が必要であることもわかった。

今回は時間的な制限があったことから、聞き取り指導を中心に行ったが、今後は絵札の文字情報も活用して、音声で導入し、文字で定着させるような活動を考えたい。

表6 5段階評価の結果

質問項目	評価
カードはきれいだった	4.6
意味が理解しやすかった	4.3
自然と単語を覚えられた	3.8
難しさはちょうど良かった	3.3

5.2.2 自由記述

自由記述の回答は、表7に示した。全般的に「カルタは楽しかった」という感想が多く、また「通常とは異なる方法で」単語を覚えたことも良かったと感じられていたようである。生活語彙の場合、一般的な語彙に比べて、音声英語による使用が多くなると考えられる。したがって、カルタの語は、聞いてわかって、会話で使えるレベルまで習得させることは重要であろう。

一方、カタカナで発音を確認したいという感想もあったことから、音声中心の指導では、視覚による確認がで

表7 自由記述の回答例

面白くて、覚えやすかった。
カードで単語がいつもより早く覚える事ができた。
かるた楽しい!!
カードゲームはすごくおもしろかったです。また教えて下さい。
カードで単語がかんたんにおぼえられた。
まあまあよかった。
カードゲームは良いけど、読み方が分からないので、読み方(カタカナ)を書いた方が良いと思う。

きないために定着が不確実で、消化不良の学習者がいたこともわかった。音声英語の習得を目指す場合においても、英語の文字情報を利用するような「読む」「書く」の活動も取り入れて、確実な定着をはかり、生活で使えるレベルの語彙習得をはかりたい。

6. まとめ

平成19年度に改定予定の新・学習指導要領では、小学校英語が必修化されようとしている。小学校英語の必修化を見据え、我々は「一貫型の語彙指導シラバスの開発」を行ってきた。本研究は、一連の開発研究の成果を教材化したもので、小学校で学んだ生活語彙を、中・高英語教育でさらに補充、発展させ、教科書英語に不足する生活語彙の系統的習得を目指すものであった。

今回開発した教材は、我々が既に開発した「小学生のための生活語彙カルタ」の続編である。したがって、小学生が「小学生のための生活語彙カルタ」を学習したのちに、今回開発した中級・上級用生活語彙カルタを使って学習するものもよいであろう。また、中・高生が小学生用の初級から始めて中級、上級へと進むのもよいであろう。このような生活語彙カルタの作成によって、図1、表1に示した大学を含む「小・中・高・大一貫型」の語彙指導シラバスの構想がより一層具体化されたものと考ええる。

本教材で作成したカルタを高校で試用し、単語テストと質問紙調査を用いて効果を確認した。その結果学習困難校であったにも関わらず、動機付けに効果があり、楽しく学習ができて、さらに指導語彙が定着していたことが判明した。限られた試用ではあったもののカルタ教材の有効性が確認できたものと考ええる。

今後は、作成したカルタ教材を年間の授業計画に取り入れる形でカリキュラムを作成し、指導効果を確認したい。また、同時に、教材を改良、追加していく予定である。

謝 辞

本研究の一部は「平成19～20年度科学研究費補助金・基盤研究(C)」援助を受けて行われました。ここに感謝申し上げます。

引用文献

- アルクキッズ編集部(2005)『CD-ROMブック英語絵カード集400』東京：アルク
- Chujo, K. and Nishigaki, C. (2004) "Creating E-Learning Material to Teach Essential Vocabulary for Young EFL Learners", *Proceedings of IWLeL 2004*. Tokyo, Japan.
- Chujo, K., Nishigaki, C. and Utiyama, M. (2005) "Selecting 500 Essential Daily-Life Words for Japanese EFL Elementary Students from English Picture Dictionaries and a Children's Spoken Corpus", *Proceedings of Inaugural International Conference on the*

- Teaching and Learning of English in Asia*, Penang, Malaysia.
- 中條清美, 長谷川修治, 竹蓋幸生 (1993) 「日米英語教科書の比較研究から」『現代英語教育』, 29 (12), 14-16
- 中條清美, 竹蓋幸生 (1994) 「現代英語のキーワードプラスα 2000—定義と効果の検証」『千葉大学教育実践研究』第1号, 39-51
- 中條清美, 西垣知佳子, 内山将夫, 岩橋弘美, 山崎淳史 (2005) 「英語絵辞書の語彙」『日本大学生産工学部研究報告』, 38, 77-105
- 中條清美, 西垣知佳子, 内山将夫, 中村隆宏, 山崎淳史 (2006) 「子供話し言葉コーパスの特徴語抽出に関する研究」『日本大学生産工学部研究報告』, 39, 65-78
- 中條清美, 西垣知佳子, 西岡菜穂子, 山崎淳史, 白井篤義 (2006) 「小学校英語活動用テキストの語彙」『日本大学生産工学部研究報告』, 39, 79-109
- 中條清美, 西垣知佳子, 吉森智大, 西岡菜穂子 (2007) 「小・中・高一貫型英語語彙シラバス開発のための基礎研究」*Language Education & Technology*. 44, 23-42.
- Coady, J. (1997) "L2 Vocabulary Acquisition: A Synthesis of the Research" in Coady, J. & Huckin, T. (Eds.), *Second Language Vocabulary Acquisition*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Dale, E. and O'Rourke, J. (1981) *The Living Word Vocabulary*. Chicago: World Book-Childcraft International, Inc.
- Folse, K. S. (2004) *Vocabulary Myth*. Michigan: the University of Michigan Press.
- Harris, A.J. and Jacobson, M.D. (1972) *Basic Elementary Reading Vocabularies*. New York: The Macmillan Company.
- 長谷川修治, 中條清美 (2004) 「学校指導要領の改訂に伴う学校英語教科書語彙の時代的变化—1980年代から現在まで—」『*Language Education & Technology*』, 41, 141-155
- 樋口忠彦 (編) (2005) 『これからの小学校英語教育—理論と実践—』東京: 研究社
- 樋口忠彦, 泉恵美子, 衣笠知子, 加賀田哲也, 田邊義隆, 掛谷舞他 (2005) 「諸外国の言語教育政策と日本の外国語教育への示唆」『*語学教育部ジャーナル*』, 1, 1-61
- 樋口忠彦, 田邊義隆, 衣笠知子, 泉恵美子, 大村吉弘, 掛谷舞, 他 (2005) 「小・中・高一貫のナショナル・シラバス試案—日本の英語教育変革のために—」『*近畿大学語学教育部紀要*』, 5, 1, 75-137
- 堀内克明 (1976) 「提示順序と使用頻度—サンマは目黒に限るといふこと」『*現代英語教育*』, 13 (6), 4-6
- 小池生夫 (2006) 『第二言語習得研究を基盤とする小, 中, 高, 大の連携をはかる英語教育の先導的基礎研究』平成16年度~平成19年度科学研究費補助金 (基盤研究(A)) 中間報告書
- Krashen, S. and Terrel, T. (1983) *The Natural Approach: Language Acquisition in the Classroom*. Oxford: Pergamon Press.
- MacWhinney, Brain (2000) *The CHILDES Project: Tools for analyzing talk. 3rd Edition. 2: The Database. Mahwah, NJ: Lawrence Erlbaum Associates.*
<http://childes.psy.cmu.edu/data/>
- 松原健二 (1987) 「教科書の語彙に現実性—中学校英語教科書の内容語を考える—」『*英語教育*』, 36 (10), 28-30
- 松崎博 (1999) 『みて! きいて! かんたん英語カード』東京: 旺文社
- McArthur, T. (1981) *Longman Lexicon of Contemporary English*. Essex: Longman.
- McCarthy, M. (1990) *Vocabulary*. Oxford: Oxford University Press.
- 三浦順治 (1973) 「第二言語としての英語基本語い選択の条件」『*秋田大学教育学部研究紀要*』, 23, 49-5
- 文部科学省 (2001) 『小学校英語活動実践の手引』東京: 開隆堂出版
- 文部科学省 (2003) 「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/15/03/03033101.htm
- 文部科学省 (2004) 「教育課程部会 外国語専門部会 (第3回) 議事録・配付資料」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/015/04052601.htm
- 文部科学省 (2005) 「教育課程部会 外国語専門部会 (第9回) 議事録・配付資料」
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/siryu/015/05120501.htm
- 毛利公也 (2004) 『英語の語彙指導あの手この手』広島: 溪水社
- 西垣知佳子, 中條清美, 櫻村雅子 (2007a) 「小学校英語における日常生活基礎語彙の指導—語彙選定と英語カルタの開発・活用」『*千葉大学教育学部研究紀要*』, 55, 255-270
- 西垣知佳子, 中條清美, 櫻村雅子 (2007b) 「英語・生活語彙カルタの開発と指導」『*JASTEC (日本児童英語教育学会) 第28回全国大会要項*』, 22-25
- 西垣知佳子, 中條清美, 武内仁 (2006) 「小学校英語との連携に配慮した中学校重要語彙学習のためのe-learning教材の開発」『*千葉大学教育学部研究紀要*』, 54, 235-246
- 大谷泰照 (2006) 「諸外国の外国語教育からの示唆」『*英語教育*』, 54 (12), 10-13
- 匂坂桂子 (2005) 『ことわざ英語かるた』静岡: ワンダーラビット・クラブ
- Schmitt, N. (2000) *Vocabulary in Language Teaching*. Cambridge: Cambridge University Press.
- 宗次道子監修 (2006) 『なぞなぞ英語カルタ Who am I?』東京: ディーネットバイリン社
- 末延岑生 (2006a) 『末延先生が作った1000文英語カードゲーム第1集』東京: ユニコム
- 末延岑生 (2006b) 『末延先生が作った1000文英語カードゲーム第2集』東京: ユニコム
- 竹蓋幸生 (1982) 『日本人英語の科学』研究社出版: 東京

- 竹蓋順子 (2000) 「大学英語教育における複合システムの実践的研究」『言語行動の研究』千葉大学英語学・言語行動研究会. 7 (増刊号), 1-54
- 竹蓋幸生, 水光雅則 (2005) 『これからの大学英語教育』東京: 岩波書店
- Thornbury, S. (2002) *How to Teach Vocabulary*. Essex: Longman.
- 鶴田庸子 (1991) 「住んで知った生活語彙の威力」『英語教育』39 (13), 46-49
- わだことみ (2001) 『アルク2000語絵じてん えいご絵カード100』東京: アルク
- Wilkins, D. (1972) *Linguistics in Language Teaching*. London: Arnold.
- 山田雄一郎 (2007) 「小学校英語にどう取り組むか—広島市の挑戦」『英語教育』56 (3), 44-47
- 山家保 (1966) 『新しい英語教育』東京: 英語教育協議会 (ELEC)

付録 1

中級・生活語彙

名 詞					
people	family	grandma	nature	plants	acorn
		grandpa			cactus
	jobs	carpenter			hay
		checker			leaf
		cowboy			seaweed
		dancer		trunk	
		dentist		materials & substances	air
	pilot	clay			
	body	bump			dirt
		cough			gas
		finger nail			iron
		heel			marble
		lip			mud
stomach		pebble			
tear		seashell			
tummy	weather & space	crescent (moon)			
wrist		icicle			
animal		pets	hamster	lightning	
	farm animals		bull	rainbow	
		hen	desert		
		pony	dune		
		rat	jungle		
		skunk	waterfall		
	zoo animals	ape	wave	geography	
		beaver	transportation		jeep
		buffalo			jet
		chimpanzee			parachute
		koala			sailboat
		lizard		subway	
		orangutan	taxi		
reindeer		wagon			
wolf	community	places	bench		
marine animals			clam	elevator	
			crab	grocery (store)	
			dolphin	helmet	
			starfish	museum	
walrus			pool		
baby animals			cub	puddle	
			birds	nest	sidewalk
ostrich		statue			
insects		dragonfly	supermarket		
		ladybug	tower		
		mosquito	tunnel		
body parts		scorpion	classroom	telescope	
	fin	school life		learning	cone
	flipper		cube		
paw	dozen				
	rectangle				
	triangle				
	upside				
	yard				
	zero				

family life	house	ceiling
		chimney
		fence
		roof
		stair
		wall
	living room	couch
	kitchen	apron
		bib
		jar
		mixer
		pot
		sponge
		teapot
	toaster	
	bathroom	bathrobe
		powder
		shower
		toothpaste
	bedroom	crib
	clothes	costume
		fur
		raincoat
		stripe
		sweatshirt
		underpants
		zipper
	personal belongings	backpack
		beads
		cap
		coin
		dime
		jewelry
		key
		necklace
		nickel
		scarf
	tools&equipment	ax
		camera
		cotton
		envelope
		ink
		knot
		lamp
		lock
		magnet
		pail
pipe		
pole		
rake		
roller		
screw		
shelf		
tape		
thermometer		
thread		
tool		
wastebasket		
wheelbarrow		
wrench		

food	meals	flour
		ketchup
		muffin
		pancake
		wheat
	vegetables	celery
		cucumber
		onion
	fruits	spinach
		blueberry
		lemon
		plum
	desserts & snacks	raspberry
		cracker
dessert		
doughnut		
beverages	snack	
	syrup	
	milkshake	
entertainment	toys	pop
		soda
		rattle
		robot
	recreational equipment	snowball
		yo-yo
		canoe
	sports	merry-go-round
		microphone
		seesaw
musical instruments	race	
	ski	
events	step	
	surfboard	
story characters	band	
	trombone	
	acrobat	
	nap	
	arrow	
	ghost	
	mermaid	
princess		
scarecrow		
spell		
sword		
treasure		
witch		

小学校英語必修化に対応する小・中・高一貫型の語彙指導

動 詞		
action & movement	cooking & eating	feed
		fry
		melt
		peel
		spill
		stir
		taste
	daily life activities	bark
		bathe
		fit
		hurry
		pretend
		reach
		scratch
		sew
		shake
		smell
		sneeze
		sweep
		vacuum
		whisper
		wipe
	wrap	
	yell	
	playing & studying	bounce
		clap
		count
		crawl
fight		
fold		
hike		
shoot		
skip		
thought & communication	thought & communication	forget
		guess

形 容 詞		
condition	describing objects	dark
		neat
		pretty
		quiet
		sharp
	size & weight	fat
		tight
	feelings & attitudes	angry
		funny
		silly

付録 2

上級・生活語彙

名 詞		
people	family	daddy
		grandparents
		mommy
	jobs	astronaut
		baker
		ballerina
		barber
		butcher
		driver
		fireman
		florist
		hairdresser
		juggler
		officer
		painter
		vet
		waiter
		stethoscope
	x-ray	
	body	curl
		eyelash
footprint		
forehead		
lap		
skeleton		
stomachache		
suntan		
throat		
animal	pets	toad
		tortoise
	farm animal	bunny
		piggy
	zoo animal	baboon
		chipmunk
		cobra
		hippo
		hump
		moose
	marine animals	porcupine
		rattlesnake
	baby animals	jellyfish
		tuna
	baby animals	piglet
		birds
	hawk	
	pelican	
	pigeon	
	robin	
	seagull	
swan		
woodpecker		
insects	centipede	
	cockroach	
	insect	
	web	
body	beak	
	claw	
	whisker	
nature	plants	bush
		daisy
		dandelion
		grain
		pine
		stem
		sunflower
	materials & substances	tulip
		crack
		drip
		dust
		log
		snowflake
		soil
	weather & space	straw
		stuff
		fog
	geography	globe
		tornado
		cliff
		east
north		
south		
volcano		
west		
community	transportation	carriage
		carrier
		cart
		crash
		escalator
		oar
		railroad
		saddle
		submarine
		trailer
	tugboat	
	places	wheelchair
		aquarium
		bakery
		cafeteria
		crosswalk
		exit
		farmhouse
		fountain
		hydrant
		orchard
ranch		
skyscraper		
windmill		

小学校英語必修化に対応する小・中・高一貫型の語彙指導

school life	classroom	blackboard
		chalkboard
		compass
		easel
		microscope
		paste
		sharpener
	learning	gymnastics
		quart
		zigzag
family life	house	backyard
		counter
		porch
	living room	armchair
		cartoon
		cushion
		painting
		stereo
	kitchen	opener
		stool
		tablecloth
		tray
	bathroom	bandage
		hairbrush
		shampoo
	bedroom	dresser
		quilt
	clothes	blouse
		cape
		cardigan
		dot
		laundry
		panties
		sleeve
		swimsuit
		trouser
		undershirt
		underwear
		vest
personal belongings		cent
	diamond	
	wallet	
footwear	sandal	
	antenna	
tools & equipment	battery	
	bookcase	
	bookshelf	
	calendar	
	carton	
	cutter	
	diaper	
	drill	
	dustpan	
	faucet	
	hook	
	hose	
	kit	
	mop	
	paintbrush	
	pill	
	pliers	
	spade	
	stapler	
	stroller	
	tag	
	toolbox	
	yarn	

food	meals	bacon
		bun
		dairy
		ham
		mayonnaise
		menu
		pasta
		sausage
		shrimp
		taco
	waffle	
	vegetable	avocado
		cauliflower
		soy
fruits	berry	
	melon	
	raisin	
desserts & snacks	cupcake	
	gum	
	lollipop	
	marshmallow	
toys	chess	
	jigsaw puzzle	
sports	ballet	
	hockey	
	pair	
	ping-pong	
	racket	
	skateboard	
	snorkel	
	somersault	
volleyball		
entertainment	musical instruments	cymbal
		saxophone
		tambourine
	events	trumpet
		tuba
story characters	campfire	
	parade	
	rod	
	trick	
	elf	
	fairy	
	knight	
pirate		
unicorn		
wizard		
genie		

動詞		
action & movement	cooking & eating	chew
		chop
		lick
		mash
		roast
		squeeze
	daily life activities	bang
		bend
		rip
		shave
		tow
		zip
	feelings	frown
		yawn
	playing & studying	chase
		dive
float		
tickle		

形容詞		
condition	describing objects	alike
		curly
		lazy
		rough
		smooth
		ugly
	feelings & attitudes	mad
		sleepy
		smart
		sore